



2025(令和7)年度 小野中学校 学校経営方針



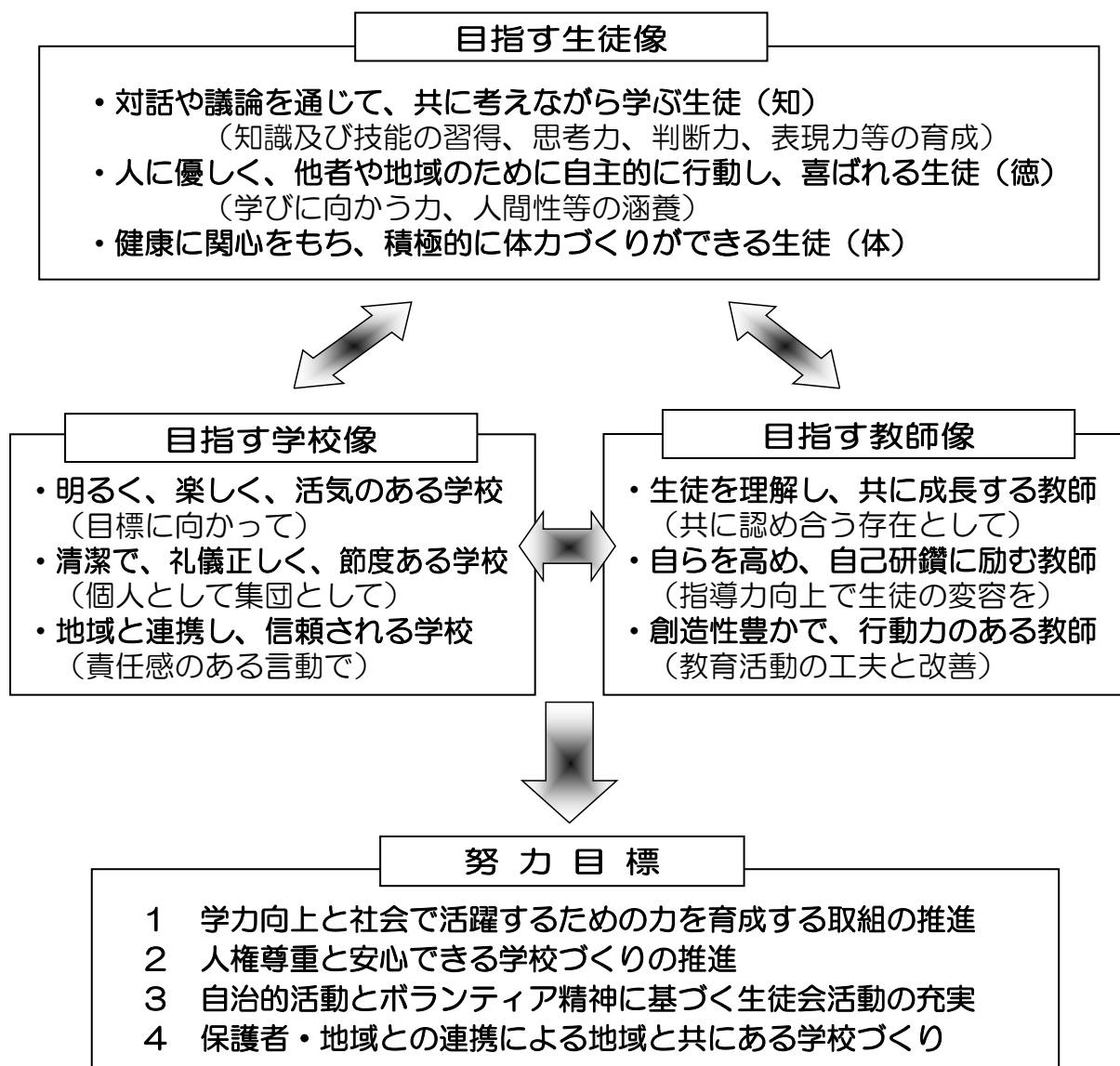
校訓「自主 積極」に基づく教育活動の推進

長崎県及び諫早市教育方針に基づき、本校の校訓「自主 積極」のもと、変化の激しい社会に対応し、生徒一人ひとりが自らの可能性を最大限に伸ばし、未来を主体的に創造していく力を育む学校を目指す。生徒の実態、保護者・地域の期待を踏まえ、教職員一同が情熱と専門性を高め、組織的な教育活動を展開する。

小野中学校教育目標 「 自他を認め、共に高め合う生徒の育成 」

スローガン 『共創』 ～その先へ～

- (1) 生徒一人ひとりの夢や志の実現に向け、情熱あふれる支援を組織的に展開する。
- (2) 教職員間の連携・協働を通して、生徒の成長を支える質の高い教育活動を展開する。
- (3) 教師自らが研究と修養に励み、生徒の学力向上に資する指導力の向上に努める。
- (4) 節度ある生活態度と他者を尊重する望ましい道徳観を身につけさせる。
- (5) 生徒の健康保持と体力増進を図り、安全対策に関する意識を高めさせる。



【努力目標達成のための重点的な取組事項】

（１）学力向上と社会で活躍するための力を育成する取組の推進

＊**学力向上**：基礎学力の定着と、思考力、判断力、表現力等の育成

＊**社会で活躍するための力**：コミュニケーション能力、課題対応能力、協調性など

○授業のねらい「めあて」と振り返り「まとめ」を明確化し全体での共有を確実に
行い、「何をするのか」「何がわかったのか、何ができたのか」を生徒とともに確認
する授業を実践する。その際、形成的評価を活用し、生徒の学びの深化を促す。

○学習規律の徹底と支持的風土の醸成により、安心して学べる（聞ける、話せる、考え
られる）学習環境の整備を図る。

○ＩＣＴの特性を生かし、学校、家庭、オンラインでの学びを連携させながら、個別最
適な学びと協働的な学びの充実を図り、ＩＣＴを活用した学びを推進する。家庭学
習の習慣化を促し、学習効果の向上を図る。

○生徒が主体的に課題を発見し、探究的な活動を通して解決策を考察する学習を充実さ
せる。地域社会の課題にも目を向けさせ、身につけた知識・技能を現実社会で活用
する意識を高める。

（２）人権尊重と安心できる学校づくりの推進

＊**人権尊重**：多様性への理解を深める教育の重要性

＊**安心できる学校**：問題行動やいじめの未然防止と早期発見・早期対応、不登校・別室
登校等への組織的な支援体制の強化

○人権教育全体計画に基づき、体験的な学習や多様な価値観に触れる機会を積極的に設
け、生徒一人ひとりの人権意識を高める。教職員は、いじめに対するアンテナを高
く持ち、早期発見・早期対応のために、組織的かつ具体的に、迅速に動く。

○生徒の抱える課題について、関係機関と連携しながら多角的に理解に努め、個々の状
況に応じたきめ細やかな支援計画を検討し実行する。

○生徒が主体的・協働的に参加できる「縦割り清掃」や各行事準備等の活動を通して、
美化意識や愛校心、公共心を育むとともに、生徒間の連帯感を醸成する。

（３）自治的活動とボランティア精神に基づく生徒会活動の充実

＊**自治的活動**：委員会活動、学級活動、生徒総会など

＊**ボランティア精神**：空き缶回収の継続・充実、地区生徒会による地域貢献活動の推進

○生徒会執行部が中心となり、生徒のニーズに基づいた活動計画を策定・実行できるよ
う支援する。委員会活動においては、具体的な目標設定と成果の検証を行う機会を
設ける。生徒総会は、建設的な意見交換の場となるよう運営方法を工夫する。

○地区生徒会等による主体的な生徒会活動をととして、ボランティア活動の意義を理解
させ、生徒が主体的に参加できるような魅力的な企画を生徒会と連携して行う。地
域貢献活動においては、地域住民との交流を深め、感謝の気持ちを育む。

（４）保護者・地域との連携による地域と共にある学校づくり

＊**保護者・地域との連携**：双方向のコミュニケーション（地域行事への参加、見学）
を重視した育友会活動、地域人材・資源の積極的な活用、
かつタイムリーな情報発信

○学校だより、学年だより等の定期的発行や学校ホームページによる積極的な情報発信
を行う。

○生徒、保護者、地域住民からの相談や情報提供等には、情報の共有を図りながら速
やかに対応する。

○地域の特色や課題を学ぶ地域学習や、地域人材を講師に招いた体験活動を積極的に展
開する。地域行事への生徒の積極的な参加を促し、地域の一員としての自覚を育
む。

○学校運営協議会の機能を活性化し、地域住民の意見を学校運営に反映させる。教職員
も積極的に地域とのつながりをもつ。